

走行チェックシート

日付	Sunday, May 11, 2008	日	時間	～	イベント	全日本ロードレース選手権 R2	
天気	曇り		マシン	GSX-R600 K8	ライダー	新庄 雅浩	
コース	名称	筑波サーキット			気温	℃	
	コンディション				気圧	hpa	
	路面温度	(計測時間)			湿度	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK		エンジンOIL	シェル アドバンス		
	ファイナルレシオ	15 x 45					
トランスミッション	1st	39/14	2.785	4th	36/24	1.5	
	2nd	39/19	2.052	5th	31/23	1.347	
	3rd	36/21	1.714	6th	29/24	1.208	
フロント	パーツ名	オーリンズ		TEN	-7		
	スプリング	9.75	N/m	OIL			
	自由長			油面	180	mm	
	イニシャル	12	mm	残ストローク	10	mm	
	COMP	-1		突き出し	5	mm	
リア	パーツ名	オーリンズ		TEN	-17		
	スプリング	95	N/m	残ストローク	30	mm	
	自由長	159	mm	リンク	(STD)		
	イニシャル	8.5	mm	リンクロッド	180(STD)	mm	
	OMP(HI)	なし		車高	3	mm	
	OMP(LO)	-12					
タイヤ	フロント			リア			
	銘柄	ダンロップ スポーツMAX GP (R4)		銘柄	ダンロップ スポーツMAX GP (R1)		
	サイズ	120/70R/17		サイズ	180/55R/17		
	エア圧	1.8		エア圧	1.8		
チェック	順位	予選17位 決勝リタイヤ	位	ベストラップ	予選 WET 1'05"059 決勝 ハーフWET ナシ		
	水温			油温	℃		
	ガソリン	IN	ℓ		走行距離	km	
OUT		ℓ		燃費	km/ℓ		

<コメント>

応援に来て下さった方ありがとうございました。そして、本当にごめんなさい・・・。
 なんじゃこりゃ！！という、結果で、なんと、MOTOMAP SUPPLYは、地元筑波で、まさかのノーリザルトしかも3人中3人とも。
 という訳で今回はレースについて書く事はなしです。
 そのかわり、今年からMOTOMAPのメンバーに加わった、全日本1年目デビューイヤーの新庄 雅浩について書いてみましょう。
 1984年7月23日生まれの23歳。
 デビューイヤーにしては、今時のミニバイク上りのライダーより、ちょっとだけお兄さんかもしれませんが、なんと初めてオートバイに乗ったのが19歳ということを考えれば順調に来た方もかもしれません。
 実は、この新庄 雅浩の実家はご存知の方も多いと思いますが、オートバイ業界で有名な、あのオートボーイなのです！！
 ということは、かつての8耐でも活躍された、国際A級ライダー新庄 裕さんのご長男なのです。
 といえばサラブレッドばいですが、19歳でオートバイに乗るまで何といましようか・・・。
 かなり、自由奔放でいろいろな社会勉強を積み、あるときなにを思ったか19歳のとき単身ニュージーランドに渡り、楽しいことも、危険なことも、経験しているいろいろな人と出会い多くのことを学んで帰国しました。
 そして、それまでやんちゃを繰り返してきた雅浩少年は、人と人とのふれあい、優しさ、支えあって皆生きている事を知り真心の心、彼の現在のトレードマークにもなっている、誠の心「誠心」という言葉が座右の銘となったわけでありませう。
 それからは、見向きもなかったオートバイに興味を持ち「おやじっ！！おれに、レースをさせてくれ！！」とミニバイク、モテ耐、ダートトラック、ロードレースとプライベートもお金もすべて、レースにつき込み、親譲りの才能と人一倍の努力を重ね、ST600デビューわずか1年目で、筑波選手権チャンピオン、茂木にいたっては全戦で、1度たりともトップを渡すことなく優勝をして見せ、パーフェクトでチャンピオンを獲得、関東エリア選手権では、なみいる国際ライダーを相手に途中出場ながら、最終ラウンドまでチャンピオン争いを繰り返し、惜しくもランキング2位と活躍しそして今年から活躍の舞台を、全日本としたわけですね。
 性格はとにかく、礼儀正しく思いやりがあり、常に周りに気を配りそして、とても熱い心を持った青年です。
 エピソードとして、彼がRACING SUPPLYのクラブ員だった昨年、普通に走ればチャンピオン確定のレースなのに、チャンピオンが決まったレースで泣き、2位で終わったレースでも、「今から、もう1度レースをやりなおそう！！」と泣きながら悔しがったりということがありました。そして、常に前向きで自分がどんなに不利でも先輩格のライダーを例に挙げ、誰々選手だったら同じバイクでもっと、タイムがだせる！！と勝手に自分でがんばってみせませう。言ったり、初めてのコースはぐるぐると、100周走り倒したり、とてもガッツあふれるルーキーです。
 本人の言葉で「全日本は楽しい！抜かれるのが楽しい！！だって、抜かれたら追いかけて行けばレベルアップ出来るから！！！」というのがあります。それは、まだまだ経験が浅くST600をわずか1年で全日本に上がった、まだまだ未完成なライダーとしてこれからもっと、経験を積み成長して行きたい！！そして、レベルアップした暁にはと、想像するだけでも楽しになります。
 地元筑波は残念でしたがこれから先、初めてのコースが続きますが折れない心で頑張ってくれると思います。
 シーズンが終わる頃にはもっともっと、成長しているでしょう。
 みなさんどうか、これからもルーキー新庄 雅浩を見守って、時には厳しくそして、熱く応援宜しくお願いします。
 さあ！次は九州だー！！

RACING SUPPLY 吉川 純治